

浦 和 区 自 治 会 連 合 会

平成30年度 会長講習会 報告書

- 1 日時 平成30年6月19日（火） 午前10時から11時30分まで
- 2 場所 市民会館うらわ 503・505室
- 3 出席者
藤枝会長・高橋副会長・石井副会長 他会長47名で計50名の出席であった。
- 4 会長講習会の概要
 - (1) 司会の石井桂太郎副会長が開会を宣言した。
 - (2) 会長あいさつ
藤枝陽子会長から本日の講習会への出席のお礼と挨拶があった。
 - (3) 浦和区役所高齢介護課の石留課長より挨拶があった。
 - (4) 講師紹介
高橋副会長から本日の講師である浦和区役所高齢介護課の鈴木保健師を紹介した。また、浦和区内の4地区の地域包括支援センターの担当者も出席していることを紹介した。
 - (5) 高齢者福祉を中心とした講習会
 - ・鈴木講師が自己紹介を行ってから、本日の講習内容である「高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らすには」についてパワーポイント及びレジュメを使用して説明を行った。
 - ・始めに、地域包括ケアシステムとは地域の高齢者に対して医療と介護と生活支援、介護予防から地域ぐるみの支え合い体制が必要であり、そこには自治会の役割も重要であるとの説明があった。
 - ・さいたま市の高齢化率、浦和区の高齢化率について説明があり、10区の中では高齢化率は低い、介護保険認定率は高いとのことであった。また、地域ごとに高齢化率や性質が異なるので、地域を支える機関である自治会、地区社協、民生委員、地域包括センターの協力と連携する仕組みづくりが必要であるとの説明があった。
 - ・10分間の休憩をはさんで、先ずかさい医院の担当者が地域包括センターの全般的な説明があり、その後、浦和区内の4地区の地域包括センターの担当者が高齢者福祉について各圏域で行っている取り組みや具体的な事例について紹介した。
 - (6) 質問コーナー
 - ・特になし。
 - (7) 閉会
高橋副会長が閉会の宣言をした。